

# 新年度のスタートに際して①

浜田小学校の職員として…

2019.04.01

No.58

校長 渡邊 幸二

新年度のスタートに際して、本来であれば「学校経営方針」について語るべきかと思いますが、今回は、学校を動かす枠組み・システムというより、それらを機能させるうえで共有化しておきたい意識・マインドについてお話します。私は、校務分掌の仕事でも他の仕事でも、この「取り組み」「仕組み」というようなハード面としてのシステムと、「意識化」や「共有化」といったソフト面からのアプローチの両面が必要だと思っています。今回は、その心構え的なことについてのお話です。



## (1) どんな組織でありたいか

今年度の浜田小学校の組織自体、あまり先例のない新しい試みです。当然、手探りの仕事だったり、遠回りになってしまったり、あるいは見直しの連続だったりすることでしょう。きっといつも「どうしたらいい？」と迷いや悩みが生じることでしょう。申し訳ありません。(もしかすると「臨時打ち合わせ」が増えるかも…)

そんな時は、すぐ誰かにきく前に、**まず自ら考えてみてください。**教師自身、**自らがアクティブラーナーとして悩み、考え、表現・発信すること**が自己成長のためには非常に重要です。そこではじめてインタラクション(相互交流)が起こり、新たな知恵・アイデアの創造につながるのだと思います。まずは「やってみる！」そんな組織人であってほしいと思います。

私たち浜田小学校の職員は、子どもたちが「**はじを捨てて何でもチャレンジ!**」してがんばろうとしているのを知っています。子どもに言うだけでなく、我々教師も自己開示したり、稚拙かもしれない実践を披瀝し合ったりという恥を晒す覚悟は絶対に必要だと考えますがいかがでしょうか。まして初めてのチャレンジとなれば、うまく行かないことも多いだろうと思います。自分の授業を変える、慣れ親しんだスタイル(昭和の授業?)から脱却することは非常に勇気のいることです。

それはベテランだろうが偏差値が高かろうが、校長だろうが若手だろうが関係ないことです。

**変なプライド(恥)は捨て、今の浜田小学校の流れに乗ってみましょう。**せっかくだから新たな高みに一度登ってみましょう。できればどっぷり浸かってみようではありませんか。まずは一步踏み出す「**改善志向**」「**解決志向**」で取り組む教師、組織であってほしいと願っています。



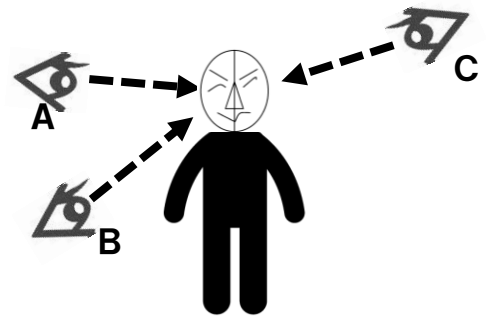
## (2) 安全安心は最優先事項

われわれが教育活動を進める上で一番心しなければならないこと…それは「いのち」(安全安心)です。これは昨年の年度初めの校長室だよりNo.1に書いた通りです。

全ての教育活動において、一番先に考えられるべきことは「安全・安心」です。それが脅かされるような教育活動を行うべきではないし、教育環境も見直す必要があります。特に、「これまでやってきたから…」という発想には往々にして危険がはらんでいます。それはかなり危険なことかもしれません。それは傍から見ると「体罰」かもしれません。どうか子どもが笑顔で「学校大好き!」って言えるあたたかな学級づくり、教育活動づくりをお願いします。

もちろん、子どもたち自らが安全管理・自己管理できる力をつけられるようにすることも必要です。

人間は、案外自分の姿が見えないものです。誰かに言われて「そうなんだ」と気づくことはよくある話ではないですか。自分の目では、自分の姿の全体像を見ることが絶対にできないからかもしれません。誰かに外から見てその像を教えてもらわなければ、客観的な自分を見ることはできないのです。また、その見立てについても、AやBから見たら笑顔の良い子どもに見えても、Cから見たら別人です。一人だけの見立て、一方的な視点というのでは全体像はわからないのかもしれない。



人だけでなく、さまざまな事象についても同じようなことが言えると思います。その教育活動が安全か否かは、案外一人ではわからないものです。特に危機や自分にとって都合の悪いことには「偏見」が生じると言われています(正常性バイアス、正常化の偏見)。大災害が起きていても「自分だけは大丈夫」と思い込もうとする心理状態です。いろんな角度からの見立てが、より安全な選択につながると思うのです。いじめについても生徒指導上の問題についても、さまざまな危機対応についても「浜田小学校の組織と運営(P7)」や「校長室だよりNo.57」で述べた通りです。

自分のクラスで生徒指導上の問題が起きたとしても、それは学校全体の問題である(6年生対象の全国学調結果が全校の問題というのと同じこと)。生徒指導に関する問題・話題は常に打ち合わせ等で共有し、学級王国でない全校児童の担任であることを意識したい。いじめもそうだが生徒指導上の問題も、自分だけの基準で「大したことはない」「解決済みである」と判断せず、必ずチームリーダーや教頭に報告したり相談したりすること。

「浜田小学校の組織と運営(P7)」

危機対応は「初動」が肝心ですので、「あれっ!?!」と感じたら、担任に限らずどなたでも、感じた人がすぐ教頭先生にお知らせください。一番ダメな教師は、何でも自分一人ですべてできると思い込んでいる教師です。確かにできる場合もありますが、大きな事故に発展する恐れが非常に高いと言えます。「軽微な事故」「異常」を感じたらすぐの報告をお願いいたします。

「校長室だよりNo.57」

あなたの学級の子どもの事案は、浜田小学校の子ども全体の事案です。その問題は積極的に開くことで解決が早まり、安全へと進行するはず。みんなの目で見立て、解決していきましょう。